

三一三九番

玉^{たま}梓^{ほこ}の 道^{みち}に出^いで立^たち 別^{わか}れ来^こし 日^ひより思^{おも}ふに
忘^{わす}る時^{とき}なし

三一四〇番

はしきやし 然^{しか}ある恋^{こひ}にも ありしかも 君^{きみ}に後^{おく}
れて 恋^{こひ}しき思^{おも}へば

三一四一番

草^{くさ}枕^{まくら} 旅^{たび}の悲^{かな}しく あるなへに 妹^{いも}を相^{あひ}見^みて
後^{のち}恋^こひむかも

三一四二番

国^{くに}遠^{とほ}み 直^{ただ}には逢^あはず 夢^{いめ}にだに 我^{われ}に見^みえこそ
逢^あはむ日^ひまでに